

応用力学運営委員会
力学的感性と教育 小委員会
第11回議事録（案）

（自然形態の建築構造への応用 WG 第3回）

記録 山田

- A. 日 時 2009年 8月10日（月） 13：30～15:35
- B. 場 所 建築会館会議室
- C. 出席者：新宮清志，山田耕司，小嶋英治，岡田章，立道郁生，安井雅明，堤和敏，近藤典夫，朝川剛，片迫幹男（以上，10名）
- D. 提出資料
- ・資料 09-07：力学的感性と教育小委員会 第10回議事録（案）（山田）
 - ・資料 09-08：目次案(山田)
 - ・資料 09-09：執筆内容に関する資料（小嶋）
- E. 審議及び報告事項
- 1) 前回議事録確認（山田）
- 了承された。
- 2) 出版について（資料 09-08）
- 「力学的感性」とタイトル「建築形態と構造デザイン」が結びつかない
→タイトル「力学的感性に基づく建築形態と構造デザイン」に変更しては、
「力学的感性」の定義は何か？ ラーメン構造では力の流れが見えない
「力学的感性」を突き詰めた方が良いのでは。→先ず「力学的感性」を定義する
主旨に沿ったストーリーが欲しい。
テーマが漠然と幅広いので、絞った方が良いのでは。
主要なキーワードを絞ったら：1=「力学的感性」2=「自然に学ぶ」3=「建築形態」
4章の「最適化手法の一般論」は必要なく，4章では事例を羅列すればよい。
4章タイトル「自然を真似た」→「自然から学んだ」
4章では，自然形態を真似て失敗した事例も示した方がよいのでは。
4章に違和感がある
他の工学における最適化（軽量化など）の適用事例を書いては？
部材→平面フレーム→立体フレームなど，順番に説明した方良いのでは。
ガリレオの「新科学対話」的要素があっても良いのでは。
サルバドリの本「構造力学」「構造設計」のイメージが面白いのでは。
横尾の「力感」を参考にしたらどうか
小委員会を2年延長し，再来年度後半あたりで出版しても良い(主査)
- F. その他
- ・次回委員会：9月中旬から下旬にWGと合同で行なう。

- ・「力学的感性」「力感」論を検討する。参考資料は事前に配布する。

以上

「力感」に関する参考文献

- 1) 福本早苗：力学より，まず力感，特集＝構造設計技術の総点検，建築雑誌1993年6月号，p. 63, Vol. 108 No. 1343
→ 添付ファイル
- 2) 横尾義貫：『建築構造随想』（昭和53年2月18日発行、非売品）
→ 建築学会図書館
分類記号 624.04 Y0.2 1
資料区分 図書－和書（保管場所：開架）
タイトル 建築構造随想
著者 横尾義貫先生京都大学退官記念事業会 編
出版（出版社） 横尾義貫先生京都大学退官記念事業会 （出版年月日） 1978/02/18
（出版地） 京都
サイズ等（ページ） 221p. （サイズ） 26cm
受入日 1978/03/29
登録番号 J7005540